

令和7年9月19日 江東めぐみ幼稚園

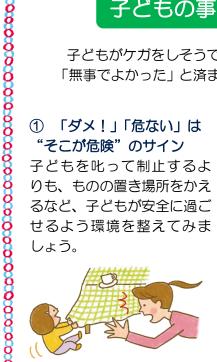
夏が過ぎましたが、まだまだ暑さが続いています。気温に注意しながら、運動 会の練習も始まります。夏の疲れが出てくる頃なので、しっかり睡眠をとるよう にしましょう。

子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり!

子どもがケガをしそうで「ヒヤッとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。 「無事でよかった」と済ませるのではなく、なぜヒヤッとしたのかを見直してみるとよいです。

① 「ダメ!」「危ない」は "そこが危険"のサイン

子どもを叱って制止するよ りも、ものの置き場所をかえ るなど、子どもが安全に過ご せるよう環境を整えてみま しょう。



② 一度あれば二度、 二度あることは三度ある

危ないと思ったら、必ず理由や 経緯を考えましょう。原因が分 かれば対策が取れます。対策を しないと、大きな事故につなが る危険がそのままに。



③ 大人も一緒にやってみる

子どもが過ごす場所が安全か どうか、子どもの目の高さでチ ェックしてみましょう。遊具や おもちゃは、一緒に遊んで正し い使い方を示します。



汗をたくさんかきましょう!



いつも冷房の効いた室内にいて汗をかく機会が少ないと、汗腺 が働かなくなって汗をかきにくい体になってしまいます。

汗には、体温を調節する大切な役割があります。

働く汗腺の数が決まるのは、3歳までと言われています。

小さい頃こそ、たくさん体を動かして汗をかくことが大切です。

★汗を放っておかない★

あせもを防ぐには、汗や、汗に含まれる塩分などを洗い流すこ とが大事です。汗をかいたら濡らしたタオルで拭く、シャワー を浴びさせるなどで汗を取り除きましょう。

引き続き、虫よけ対策を

気温が下がってくると、蚊の活動も 活発になってきます(気温 25~ 30℃あたりを好むようです)。

引き続き、虫よけを適切に使ったり、 肌をできるだけ覆ったりして虫を寄 せ付けない工夫をしましょう。

虫刺されをかきむしると、とびひに 移行してしまうこともあります。

ひどい場合は早めに小児科や皮膚科 で相談するのもよいです。

